



世界都市金沢をめざして

■金沢市の気象

(1961年から1990年までの平均値)

●年間1mm以上の降水日数

札幌	138	東京	99
金沢	181	大阪	100
名古屋	104	鹿児島	125

●年間降水量 (mm)

札幌	1,130	東京	1,405
金沢	2,593	大阪	1,318
名古屋	1,535	鹿児島	2,237

●年間0cm以上の積雪日数

札幌	131	東京	5
金沢	63	大阪	3
名古屋	7	鹿児島	3

●姉妹都市の年間降水量

バッファロー	980	イルクーツク	461
ポルトアレグレ	1,354	セント(オランダ)	802
ナンシー(パリ)	648	蘇州(南京)	1,037

※セント、ナンシー、蘇州はデータがないため、近くの都市()を掲載。

三つの柱

- ① 高次都市機能を整える
- ② 個性を磨き高める
- ③ 豊かな人間環境を築く

世界都市への課題

- ① 安全な都市の形成
- ② 都市機能の充実
- ③ 豊かな福祉の構築
- ④ 都市環境の保全
- ⑤ 学術・文化の高揚
- ⑥ 新たな展開
- ⑦ 市民主体の都市経営

世界都市構想の
基本テーマ

世界の中で独特の輝きを放つ都市づくり
住む人一人ひとりの幸せをめざす都市づくり

金沢世界都市構想1995(平成7)より

お問い合わせ

金沢市都市整備部駅周辺整備課

〒920-0852 金沢市此花町3-2 ライブ1ビル2F TEL076-221-5338

E-mail:ekisyuu@city.kanazawa.ishikawa.jp

この印刷物は、環境保護のため再生紙を利用しています。

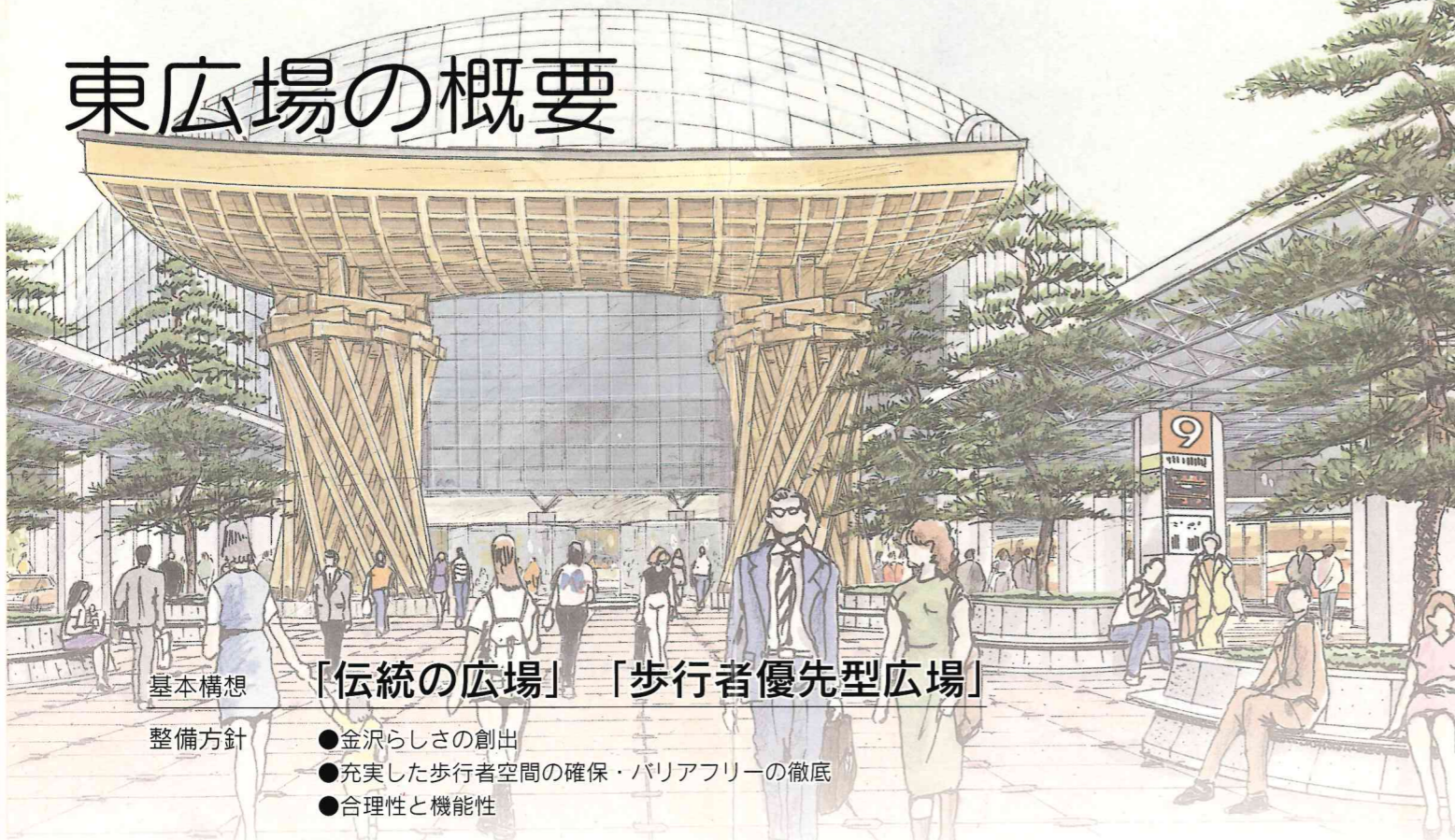
平成16年7月改訂

金沢駅北 土地区画整理事業



愛称:もてなしドーム

東広場の概要



基本構想 「伝統の広場」 「歩行者優先型広場」

- 整備方針
- 金沢らしさの創出
 - 充実した歩行者空間の確保・バリアフリーの徹底
 - 合理性と機能性

■地上施設 (19,400㎡)

①交通施設

- ・バスターミナル (乗車11バス、降車5バス、待機8バス)
- ・タクシー乗降場 (乗車3バス、降車5バス、待機57台)
- ・一般車駐車場 (駐車台数45台 [うち㊥専用2台])
- ・一般車降車場 (降車3バス、㊥専用乗降1バス)
- ・ST、緊急車駐車場 (2台)

②大屋根 (3,000㎡)

③乗降場シェルター (4,100㎡)

④シティーゲート (通路幅7.5m)

⑤修景施設 (流れ、池(噴水)、植栽)

■広場の将来総利用者数

単位 (千人/日)

	計		東広場		西広場	
	H4	H24	H4	H24	H4	H24
総利用者数	164	269	128	166	36	103
歩行者、自転車	115		87		28	
歩行(コンコース)	76		54		22	
歩行(その他)	37	171	32	99	5	71
自転車	2		1		1	
北鉄金沢駅	4	8	4	8	—	—
バス	32	73	29	47	2	26
タクシー	6	10	5	7	2	3
一般車	7	7	3	5	4	3

(注)・金沢駅東広場基本設計策定調査 (H5.3) による
・JR金沢駅乗降客数 49,400人 (H4調査)、147,600人 (H24推計)



シティーゲート

■地下施設 (10,550㎡)

①地下広場 (多目的空間、5方向地下通路、情報発信空間)

②修景施設 (池、ライトコート)

■都市計画決定面積 (東広場)

単位 (㎡)

	従来広場 (S29都決)	現在広場 (H7都決)
全体面積	17,800	27,000
広場	10,900	19,400
道路	6,900	7,600

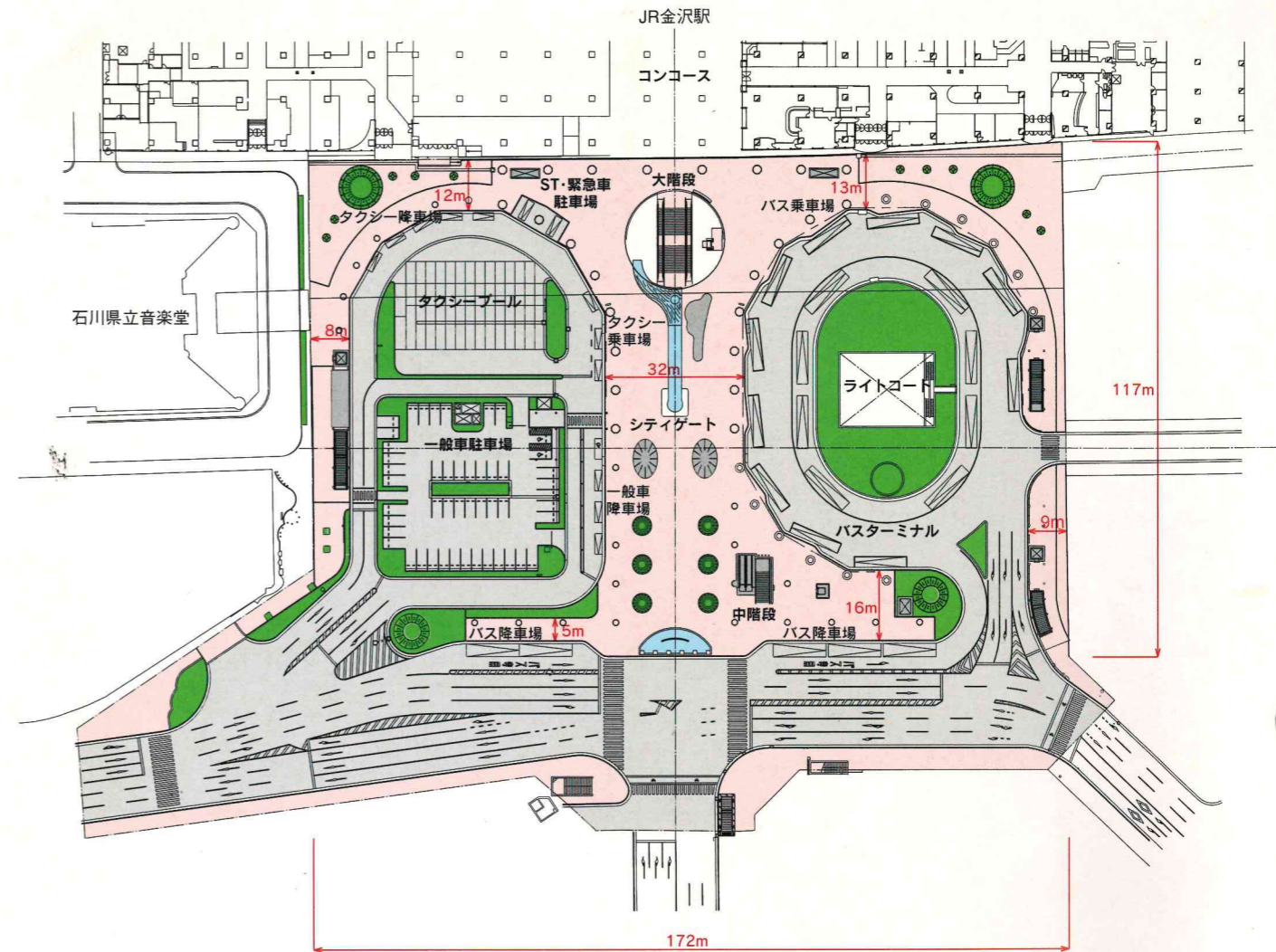


地下広場 (大階段周辺)

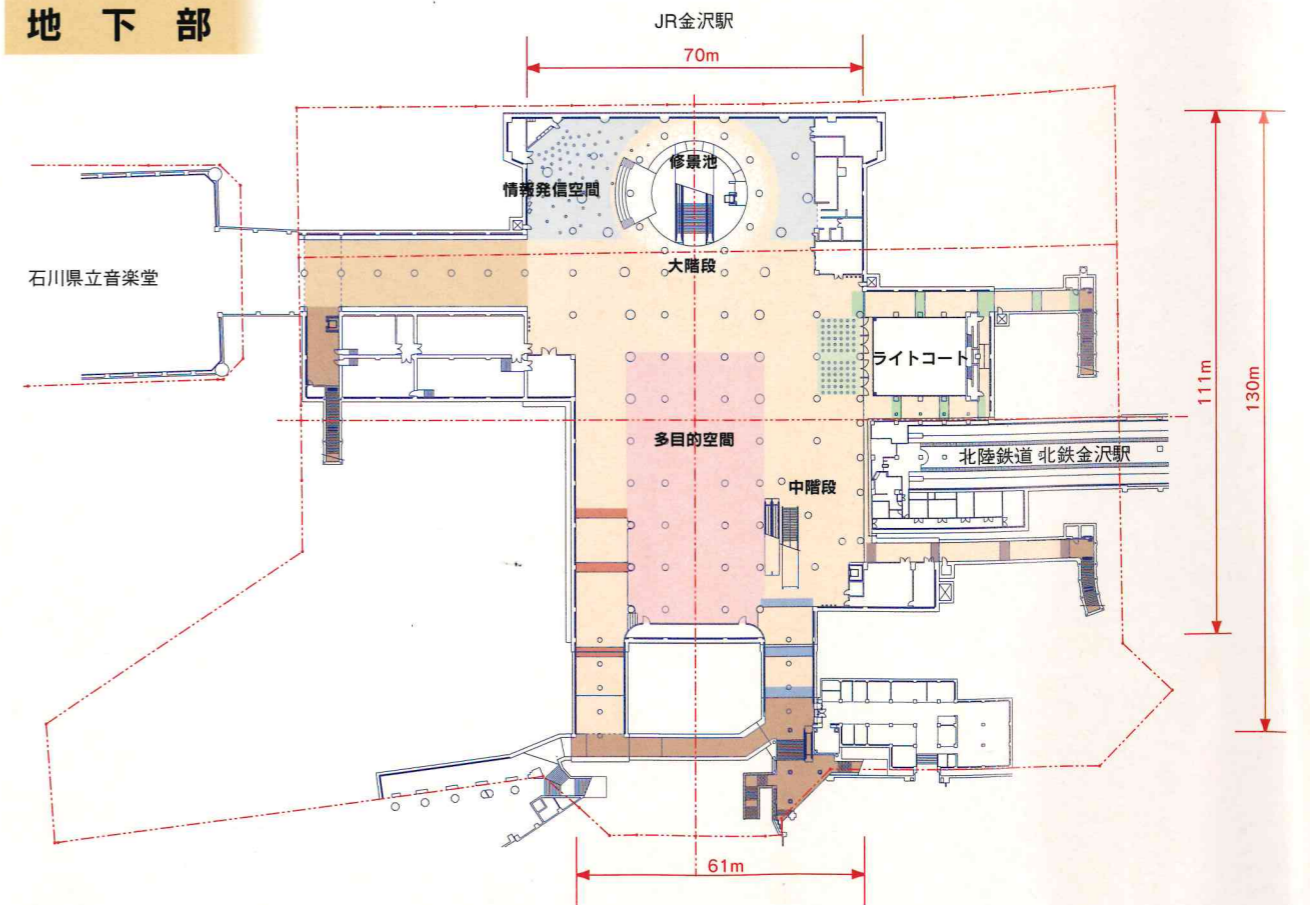


地下広場 (ライトコート廻り)

地上部



地下部



土地区画整理事業の概要

■金沢都市計画事業 金沢駅北土地区画整理事業

■施行者の名称 金沢市（法3条3項）

■事業施行期間 平成6年3月～平成19年3月

■都市計画決定の告示

平成4年1月
平成7年5月（広場編入による区域拡大）

■事業計画決定の公告

平成6年3月（事業費；146億円 面積；9.2ha）
平成7年8月（事業費；422億円 面積；11.9ha）
広場を区域に編入
平成11年11月（事業費；599億円 面積；11.9ha）
広場整備費見直し

■浅野川線移設地下化事業

1) 事業認可 平成8年3月11日（運輸省認可）

2) 移設区間 延長約707m

- ・駅部関連工区 L=94m
- ・一般隧道部工区 L=185m
- ・U型、L型工区 L=288m
- ・土工部工区 L=140m

3) 整備期間

平成7年8月～平成14年3月
（平成13年3月28日新駅・新線供用開始）

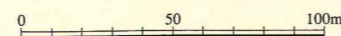


凡 例	
	施行地区界
	広 場
	都市計画道路
	区画道路
	歩行者専用道路
	公園・緑道
	水 路
	軌 道



北陸鉄道 北鉄金沢駅（浅野川線移設地下化事業）

縮尺 1:2500



■総事業費；599億円

内訳	単位 (百万円)
公共施設整備費	24,789
・金沢駅東広場	17,014
・都市計画道路	7,415
・区画道路	199
・公園緑地	161
移転移設補償費	28,930
その他工事費	5,439
事務費	742
計	59,900

■減歩率

公共減歩率	保留地減歩率	合算減歩率
24.0%	—	24.0%

■施行地区 面積；11.9ha

土地の種目別施行前後対照表

区 分	施行前		施行後		
	地積 (m ²)	%	地積 (m ²)	%	
公共用地	道 路	8,152	6.8	26,300	22.1
	広 場	13,553	11.4	21,652	18.2
	公 園	—	—	2,770	2.3
	水路	2,111	1.8	364	0.3
	公共用地計	23,816	20.0	51,086	42.9
宅 地	民有地	80,536	67.6	68,080	57.1
	準国有地	15,204	12.7	—	—
	宅地計	95,740	80.3	68,080	57.1
測量増減	△390	△0.3	—	—	
合 計	119,166	100.0	119,166	100.0	